

事業概要【新モビリティサービス導入による地域公共交通の再構築・地域のにぎわい創出事業】

申請者	愛媛県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,940千円 (25,940千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	交通DXや空飛ぶクルマといった新モビリティサービス導入に向けた県内市町の取組み支援や南予地域における空飛ぶクルマの実機を使用した実証飛行の実施により、新モビリティサービスの導入を促進することで、「サービスや運営の高度化」、「公共交通を使いたくなる環境整備」を図り、それにより、県内の地域公共交通の再構築や利用促進、ひいては地域のにぎわい創出につなげていく。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 市町の新モビリティサービス導入に向けた取組に対する補助を行うほか、空飛ぶクルマの実証実験を行い、県民の社会受容性・事業者の参入意欲の醸成に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町が実施する新モビリティサービス導入に関する事業及び市町が事業者に対して実施する新モビリティサービスに関する補助事業に対する補助10,000千円（補助金） ○市町が導入する新モビリティサービスに付随して生じる事業設備・備品経費等に対する補助10,000千円（補助金） ○空飛ぶクルマ実証飛行実施5,940千円（委託料） 				 	
地域の多様な 主体の参画	<p>地域公共交通を担う交通事業者や市町と連携した新モビリティサービスの導入、運航事業者・観光産業等と連携した空飛ぶクルマの実証飛行を行い、地域公共交通の再構築、利用促進、にぎわい創出を図る。</p> <p>地域公共交通網再編協議会等を通じて地域の声の吸い上げや先進事例の横展開を行うとともに、日本政策投資銀行や大学等有識者の意見を踏まえ、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①県内の主な公共交通機関の年間輸送人員(+7,941人) ②新たなモビリティサービス等の実装件数(+3件) ③県内で空飛ぶクルマの事業化を検討する市町(+2市町) ④キャッシュレス決済を導入している鉄道・バス事業者数(+2社) ⑤GTFSを公開しているバス事業者又は市町数(+12者)